

## 多様な主体による連携・協働

(資料編 P55)

### 豊島区の現状

#### ● 地域に広がる環境ムーブメント

豊島区では、環境に配慮した暮らしをしている区民をはじめ、企業、大学、商店街、NPO など、さまざまな主体による緑化や太陽光発電、LED 照明導入などの環境配慮行動の実践が広がっています。

環境問題の解決には、このような一人ひとりの取組みが不可欠です。それぞれの取組みが、他の主体と連携・協働することで環境ムーブメントが大きなものに発展しつつあります。

#### ● 次世代を担う子どもたちに向けて

環境問題は、遠い将来の話ではなく、現在の日常生活と密接なかかわりを持っています。次世代を担う子どもたちがこのことに気づき、学ぶことは、持続可能な社会を形成していく上で重要なことです。

そのため、区では、区民や地域団体との連携・協働により、子どもを対象とした環境教育事業を実施しています。

また、小中学校においても、NPO や大学などと連携しつつ、社会科や理科、総合的な学習の時間等において環境教育に取り組む動きが出てきています。

### 主な施策の実施状況

#### ● 「グリーンとしま」再生プロジェクト

平成 21 年度に実施した「学校の森」植樹祭で高まった緑化再生の気運を継続し、区民、地域活動団体、企業等からなる「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会を設置し、区民に身近な区施設等への植樹や「緑と環境の区民フォーラム」を開催しました。



### ◆「いのちの森」植樹祭

区の公共施設 31 か所に、地域植生の特性にあった常緑樹等を 5,483 本植樹し、緑豊かな地域の再生をめざすとともに、地域に住む人々を守る「いのちの森」植樹祭を実施しました。(平成 22 年 5 月 12 日~5 月 24 日)



植樹本数	植樹面積	参加者数
5,483 本	1,171.19 m <sup>2</sup>	963 名

### ◆緑と環境の区民フォーラム

「学校の森」植樹祭を終えて一年、この間の木の生長を振り返りながら、緑を守り、育てることの意義について、子どもたちと一緒に考えました。また 2010 年(平成 22 年)は国際生物多様性年であることから、緑だけに留まらず、動植物と人との共生などについても広くアプローチすることで、区民の環境意識を啓発し、保全行動につなげていくことを目的にフォーラムを開催しました。

子どもたちの学校での様々な取組みの発表、横浜国立大学名誉教授である宮脇昭先生らをパネリストに招いて実施したパネルディスカッションを通じて、さまざまな角度から緑化や地球環境などについて意見交換をしました。

会場には、「学校の森」の最新状況や子どもたちからのメッセージパネル、5 月に実施した「いのちの森」植樹祭の様子や植樹に参加された方が書かれたメッセージカードの展示をしました。



子どもたちのメッセージパネル

実施日	会場	参加者数
6 月 27 日	立教大学池袋キャンパス 11 号館	250 名



植樹に参加された方たちの  
メッセージパネル

### ● としまエコライフフェア

「としまエコライフフェア」は、区で行っている環境関連イベントの中でも最大規模のものです。平成 22 年は国際生物多様性年であることから、「エコして守ろう！自然の恵み」をテーマに、27 団体の参加のもと、8 月に開催し、約 500 名が来場しました。

またこのフェアを通じて生まれた参加団体間のコミュニケーションは、フェアに限らず様々な事業を展開する際に大きな効果をもたらすことが期待されます。



### ● 環境学習講座「こどもエコ体験隊」

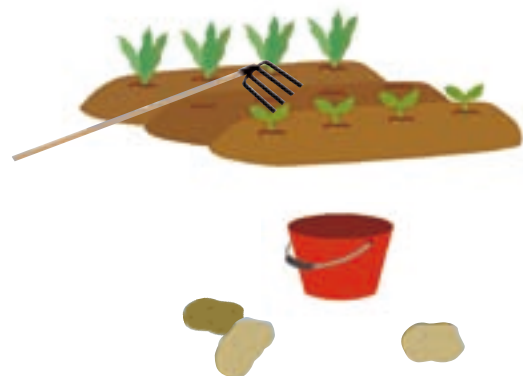
環境保全行動に取り組む人材育成を目的として、小学生と保護者を対象に、身近な地域環境から地球規模の環境問題まで幅広く学ぶ、参加・体験型の環境学習講座を実施しています。区民、企業、NPO 団体など様々な立場の方が講師となり、農園体験や太陽光で動くおもちゃづくりなど、子どもたちが楽しみながら学べる内容となっています。

平成 22 年度は、計 6 講座を実施し、延べ 368 名が参加しました。

回数	内容
全 3 回中 2,3 回目	農園体験・じゃがいもを育てよう！ (1 回目は 21 年度実施済)
全 3 回	農園体験・だいこんを育てよう！
全 1 回	葉っぱを観察してみよう！
全 1 回	エネルギーを使って遊ぼう！
全 1 回	秋の森をたんけんしよう！
全 1 回	親子でペレット工作をしよう！



農園体験・じゃがいもを育てよう！・収穫



● **フールのヤゴ救出作戦**

オフシーズンの区立小学校のプールに生息しているヤゴを、児童や保護者、地域住民の参加で救出し、羽化まで観察することで、子どもたちが生き物に触れあい、命の尊さについて学ぶ機会としています。平成 22 年度は、18 校の小学校で実施しました。



● **環境授業**

6月の環境月間に、小学校5年生を対象として、地球温暖化に関する授業を全区立小学校で実施するとともに、「CO<sub>2</sub>削減としまアクションウィーク」として、各家庭で節水や節電などの省エネ行動に7日間取り組みました。

その後、チェックシートをもとに各家庭で削減したCO<sub>2</sub>量の総合計はおよそ4,277kgとなりました。「CO<sub>2</sub>削減としまアクションウィーク」後も授業で、「自分たちにできることは何か」について話し合い、学校や家庭で継続して省エネ行動に取り組んでいます。

また「学校の森」の植樹を振り返りながら、学校の校庭や地域の自然観察を通じ、豊島区と御蔵島の環境を学ぶ授業を実施しました。授業を通じて、自然や生きものにより関心を持つようになり、お互いの自然環境や多様な生物の存在、それらとわれわれの生活とのつながりを学びました。

● **環境情報誌「エコのわ」**

「エコのわ」は、区が発行する環境情報誌です。「日常生活から地球環境を見直す」という視点に立ち、環境に配慮した暮らしや、それを実現する方法などをわかりやすく伝えることにより、区民の生活スタイルの転換を図ることを目的として発行しています。区民ボランティアの方と区の職員と一緒に企画・編集・取材を行い、誌面を作成しています。



	実績
発行	年 2 回
部数	年間 234,000 部
内容	生物多様性とは バイオマスとは ほか

### ● 地域の環境活動支援

池袋・西池袋エリアが、公益財団法人東京都公園協会の「まちなか緑化事業」のモデル地区に選ばれ、民有地の「まちなか緑化」が進められています。緑の体感原理を学び、それぞれの思いを形にする話し合いを重ねることで、様々な主体の皆さんが自発的に緑を増やし、素敵なまちにしていこうという動きが広がりつつあります。平成 22 年度は 10 か所の植栽がされ、心地よい緑の景観が生まれています。

実施日	内容
4月10日	体感セミナー
5月8日	宣言ワークショップ
5月22日	デザインプレゼンテーション
6月23・24日	重点エリア1の緑化施工
8月7日	涼風体感イベント
1月30日	クラブコポラ体感セミナー・ ワークショップ
～3月まで	緑化施工 計 10 か所



モデル植栽をされた「いけばくろ茜の里」

写真提供: (株) チームネット



お披露目 涼風体感イベント

写真提供: (株) チームネット

### ● ものづくりメッセを通じた環境意識の啓発

池袋副都心の産業見本市である「第4回としまものづくりメッセ」では、LED照明やエコ窓の普及など、環境事業を展開する企業が自社製品や活動のPRを行いました。中でも電気自動車の展示は、環境に優しく今後さらなる発展が期待される分野でもあり、多くの人の注目を集めていました。

展示の他にも、東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）による環境ビジネスセミナーや省エネ推進出張相談を実施しました。



● **クールシティ推進協議会**

平成 19 年、池袋駅周辺地区が、環境省「クールシティ中枢街区パイロット事業」のモデル街区に指定されたのを機に組織された協議会です。平成 22 年度は 2 回開催し、環境省の事業以外にも、さまざまな環境に関する情報交換が行われました。

● .....  
**今後の取組み**

● **「グリーンとしま」再生プロジェクト**

区立公園・児童遊園への植樹や育樹活動を行い、引き続き緑豊かな都市の実現を目指します。

◆ **「いのちの森」植樹祭**

緑化ムーブメントを継続していくため、区立公園・児童遊園の敷地内に、約 1 万本の植樹を行います。「学校の森」及び「いのちの森」植樹祭に協力いただいた方や地域の方等と植樹をし、地域全体で緑化の機運を高めていきます。

(平成 23 年 5 月 22 日実施)

◆ **「学校の森」「いのちの森」育樹活動**

「学校の森」植樹祭から 2 年が経つ次年度は、地域の方とともに植えた木の生育状況の確認や必要に応じて、木の生長を阻害するつる性植物の除草などの育樹活動を実施します。

